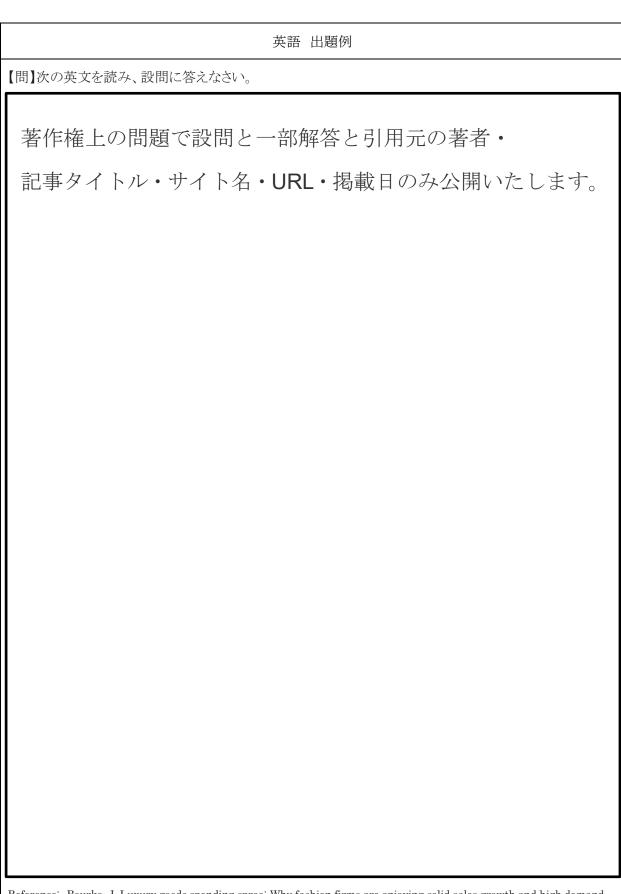
文化ファッション大学院大学ファッションマネジメント専攻 2022 年度生入試問題

■英語・小論文(試験時間 90分)

(英語は2023年度入試から実施のため、参考問題となります。)



Reference: Bourke, J. Luxury goods spending spree: Why fashion firms are enjoying solid sales growth and high demand, Evening Standard, https://www.standard.co.uk/business/leisure-retail/luxury-spending-fashion-firms-sales-growth-louis-vuitton-burberry-b947879.html, [July 28, 2021]. Q1: When this article was published in July 2021, LVMH had experienced an 11% increase.

- 1) This 11% increase in revenue was compared to the same time period before COVID.
- 2) This 11% increase in profit was compared to the same time period before COVID.
- 3) This 11% increase in revenue was over the prior year's revenue.

A1		
1		

Q2: According to the article, an increase in consumer spending on Luxury Goods after COVID was the result of which of the following factors:

- 1) Buying luxury goods when traveling to such places as Bali and Maldives.
- 2) An increase in the savings of wealthier consumers that increased during the pandemic, because they could not spend on vacations and dining out.
- 3) Increase in buying gifts to celebrate birthdays and holidays.

A2				
	2			

Q3: Based on the information in the article, why are luxury goods sales expected to continue.

- 1) Luxury goods sales are expected to increase not just for the next six to 12 months, but well into the future.
- 2) There has been an increase in luxury goods sales among older consumers and existing customers.
- 3) There has been an increase in demand from younger consumers due to digital investments and influencers.

A3		
3		

Q4: Please describe the current sales trends of luxury goods in your country, and what you believe are the factors that have influenced this trend briefly in Japanese.

Q5: Please describe what you see are successful tactics that are attracting younger customers to the luxury market in your country briefly in Japanese.				

Ⅰ期 小論文 出題テーマ

【問】以下の文章を読んで、SHEIN が成功した理由と今後、直面すると思われる課題についてあなたの考えを 1200 字以内で延べなさい。

著作権上の問題で設問と引用元の記事タイトル・サイト名・ URL・掲載日のみ公開いたします。

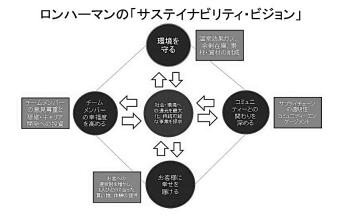
『アパレル初!謎の1兆円未上場企業「SHEIN」の正体』

東洋経済オンライン https://toyokeizai.net/ 2021 年 9 月 7 日付より一部引用

Ⅱ期 小論文 出題テーマ

【間】以下の文章を読んで、「ロンハーマン」のサステイナビリティーへの取り組みをまとめなさい。また、その取り組みの中で、あなたがもっとも重要と思う取り組みをひとつ取り上げ、その理由を1200字以内で述べなさい。

サザビーリーグの「ロンハーマン」は、サステイナビリティー (持続可能性)への取り組みを本格化した。環境へ配慮した事業活動を進め、コミュニティーとの関わりを深めるほか、商品やサービスでサステイナブルな選択肢を提供し、社員の幸福度も高める考えだ。30年までにロンハーマン事業での CO2(二酸化炭素)排出量実質ゼロを目指すほか、仕入れや在庫コントロール最適化により、23年までに店でのセールを廃止し、プロパー消化率80%など数値面でも具体的な達成目標も掲げる。



19 年からサステイナビリティーに事業全体で取り組むべきとの議論を進め、21 年から公約を定め、活動を本格化することにした。社内の誰にでもわかりやすいよう「ラブ・フォー・トゥモロー」を合言葉にした「サステナビリティ・ビジョン」を策定した。フォーカスエリアを四つに分け、それぞれに公約を設定。事業運営を進める中で、具体的な数値目標を設定している領域の一つが「環境を守る」だ。

温室効果ガスの排出削減に向け、店舗で使用する電力を再生可能エネルギーに順次切り替えていく。21 年には二子玉川、横浜、福岡、京都、神戸の5店に導入し、30年には24店全ての電力を再生可能エネルギーに切り替える予定だ。商業施設内の店舗でもディベロッパーへ再生可能エネルギーに切り替えるよう働きかける考えだ。

店舗照明の LED 化も進める。自社所有の建物や社用車などの使用電力見直しも含め省エネを推進。オリジナル商品の生産工場や仕入れブランドの商品配送のプロセスでも CO2 削減を図る。使用電力を減らす努力に加え、再生可能な手法を使った自社発電も行う考えだ。千葉県匝瑳市に新設するソーラーシェアリング施設を 10 月 15 日から稼働させ、店舗への再生可能エネルギー供給も開始する。

プロパー消化8割へ

仕入れや在庫管理を最適化し、23 年までに「ロンハーマン」「RHC」の全店でセールを廃止し、プロパー消化率を 80%に高める。20 年に一度目の緊急事態宣言が出た際、ロンハーマンでは店舗の 3 割が休業したが、その後、仕入れを 3 割減らし、セール開始時期を例年より遅くし、期間も短くしたところ、むしろ粗利率が上がった。

この時の経験からセールは「なくせる」との手応えを得た。プロパー消化で仕入れの 8 割を売り切り、残り 2 割はアウトレット 4 店で消化。アウトレットにおいても消化を急ぐために大きく値下げするのではなく、プロパー店と同様の陳列と接客販売で、過年度在庫以外は値引き率を適正に抑えて売る。

素材も資材も見直す

オリジナル商品に使う素材も 25 年までに 100% サステイナブルなものに切り替える。ロンハーマンのオリジナル商品の 8 割にはコットンが使われているが、BCI (ベター・コットン・イニシアチブ)、GOTS (オーガニックテキスタイル世界基準) などの認証を得たものか、リサイクルに切り替える。 ポリエステル、ナイロンも 100% リサイクルに切り替え、ウールやダウンも飼育環境に配慮したものに変える。

資材についても20年から始めたECで使う段ボールを減らすほか、21年度中にショッピングバッグも有料化し、使用量の削減を目指す。有料化で得る代金は環境保護団体に寄付するなど、ショッピングバッグを購入する場合も、その代金が何かしらの貢献につながる形にする考えだ。

『【ファッションとサステイナビリティー】ロンハーマン 30年に CO2 排出量実質ゼロに 23年までにセールも廃止』 繊研新聞プラス https://senken.co.jp/ 2021年8月30日付より一部引用

Ⅲ期	小論文	出題テーマ
111 7371	/ I 'IIIII X	

【問】以下の文章を読んで、丸井が SHOPCOUNTER Enterprise のサービスを採用した背景に存在するニーズと丸井が得られるメリットについて分析し、自分の考えを論理的にまとめて 1200 字以内で述べなさい。

著作権上の問題で設問と引用元の記事タイトル・サイト名・ URL・掲載日のみ公開いたします。

> 『丸井が店舗の短期貸し事業本格化 最短1日から自由に出店可能に』 日経クロストレンド https://xtrend.nikkei.com/ 2022年1月20日付より一部引用